



## 関東エコロジカル・ネットワーク10年間の取組み

---



国土交通省 関東地方整備局  
河川部 河川環境課 島内 あゆ



# 目次



● 関東エコロジカル・ネットワークとは

● 関東エコロジカル・ネットワークの始まり

● 関東エコロジカル・ネットワークが目指す到達目標

● 関東エコロジカル・ネットワークの取組み

● コウノトリのヒナの誕生・巣立ち

● 関東エコロジカル・ネットワークの取組み ～令和6年度～

● 今後の取組み





# コウノトリはこんな鳥

## コウノトリ 鶴 / 鵠 / 鴻

[英名] Oriental White Stork

[学名] *Ciconia boyciana* (キコニア・ボイキアナ)

[分類] コウノトリ目 コウノトリ科 コウノトリ属



体重は約4~5kg。

翼を広げると幅  
約200~220cm

立った時の  
身長は約100~110cm



コウノトリは、魚やカエル、昆虫からネズミやヘビ、カメ、ミミズまで動くものなら全てまるのみにして食べる

肉食の鳥

※1日約400~500gの餌をたいらげる大食漢



# 関東エコロジカル・ネットワークの始まり



- H19 ●第三次生物多様性国家戦略（「エコロジカル・ネットワークの形成」が位置づけられる）
- H20 ●国土形成計画・全国計画の閣議決定（「エコロジカル・ネットワークの形成」が位置づけられる）
- H21 ●首都圏広域地方計画の策定（「南関東水と緑のネットワーク形成プロジェクト」が挙げられる）

広域ブロック自立施策推進調査  
 「南関東における水辺環境エコロジカル・ネットワーク形成による魅力的な地域づくり検討調査」の実施



「関東エコロジカル・ネットワーク形成に関する検討委員会」の設立

【3つのエリアでWG開催】

- ・第1回検討委員会
- ・第2回検討委員会

渡良瀬  
ワーキング

荒川  
ワーキング

千葉県  
ワーキング

「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」

コウノトリ・トキの野生復帰を目指して、栃木県小山市、埼玉県鴻巣市、千葉県野田市・いすみ市等で計画づくりや協議会の発足等の取組みがスタート（H22.7）

- H22 ●生物多様性国家戦略2010
- ・第3回検討委員会
- H23 ・第4、5回検討委員会
- H24 ●生物多様性国家戦略2012-2020
- ・第6回検討委員会

「関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会」の設立

- ・第1回推進協議会

- たね地づくり専門部会
- 定着地づくり専門部会
- 人・地域づくり専門部会

・第2回推進協議会 → 「基本構想」策定

・第3回推進協議会 → 「基本計画」策定

・第4～7回推進協議会

●気候変動を踏まえた水災害対策のあり方について(答申)  
 (生態系ネットワークに配慮した水害対策が位置づけられる)

・第8回推進協議会 → 「基本計画」見直し(案)検討

・第9回推進協議会 → 「基本計画」改定版の策定

・第10回推進協議会  
 ・第11回推進協議会 → 「基本計画」改定版の推進・進捗把握

エリア協議会を設置

- 利根運河周辺エリア（H26）
- 渡良瀬遊水地周辺エリア（H27）
- 荒川流域エリア（H29）

※利根川下流エリアでも、協議会設置にむけて調整中

●野田市でコウノトリの飼育開始

●野田市でコウノトリの放鳥開始

●野田市放鳥個体と鳴門市から飛来した個体がペアを形成、渡良瀬遊水地でコウノトリのヒナ2羽が誕生、巣立つ



5県におよぶ27市町が加盟し、関係自治体で広域連携を図っています。



## ～ 到達目標 ～

### 2030年までに実現を目指す中期目標（改定）

関東地域におけるコウノトリ・トキを指標とした  
生態系ネットワーク形成基本計画

～コウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくりを目指して～

<中期目標（2030年）に向けた新5か年計画>



令和4年3月

関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会

- ◆ コウノトリの**関東地域個体群の形成**が進むとともに、コウノトリをシンボルとする国内各流域のエコネット事業地間から東アジアに至る個体群間の交流がはじまっている。
- ◆ コウノトリやトキの関東地域個体群が自活して繁殖・生息が可能となる湿地環境等の改善や創出が、堤外・堤内における関連主体の役割分担に応じ**流域一体**で進められており、河川と水田がつながることで淡水魚があふれている。
- ◆ コウノトリ・トキと共にくらせる地域を誇りとし、地域経済及び社会を構成する様々な主体の賑わいに基づいた、持続可能で**魅力ある地域づくり**が進められている。
- ◆ グリーンインフラの概念による**流域治水の取組みが主流化**し、コウノトリ・トキのほかにも関東各エリアの地域特性に基づく指標種を加味した、個性豊かなエコロジカル・ネットワークの形成が促進されている。





## 2050年までの関東エコネットの到達目標

- ◆ コウノトリやトキが**絶滅の危機から脱し普通種**になっているとともに、河川や農地等の水辺環境は改善とネットワーク化が進み、流域治水との調和の中で、多様で地域性に富んだ生物が豊かな魅力ある空間が形成されている。
- ◆ 自然空間を活かした賑わいのある地域づくりが進み、グリーンインフラにより関東地域の安全・安心が担保され、**環境と経済と社会が調和**した持続可能な社会が形成されている。



シンボルとしての  
コウノトリ等の野生復帰



生物多様性を育む  
持続可能な農業



地域経済の活性化



湿地環境の保全・再生と  
治水機能の向上



都市部との  
対流・にぎわい創出



暮らしの快適性・安全性の実現、  
地域の誇り・愛着の醸成



# 関東エコロジカル・ネットワークの取り組み



渡良瀬遊水地第二調節池

コウノトリが5年連続巣立ち  
(提供：わたらせ未来基金)



利根川運河協議会

地域の皆さんによる  
外来植物の引き抜き活動



いすみ教育ファームの田植え体験

食・農・環境教育



利根川下流部自然再生事業

川の自然環境の保全・創出



環境に優しい農業に取り組み  
ブランド米誕生

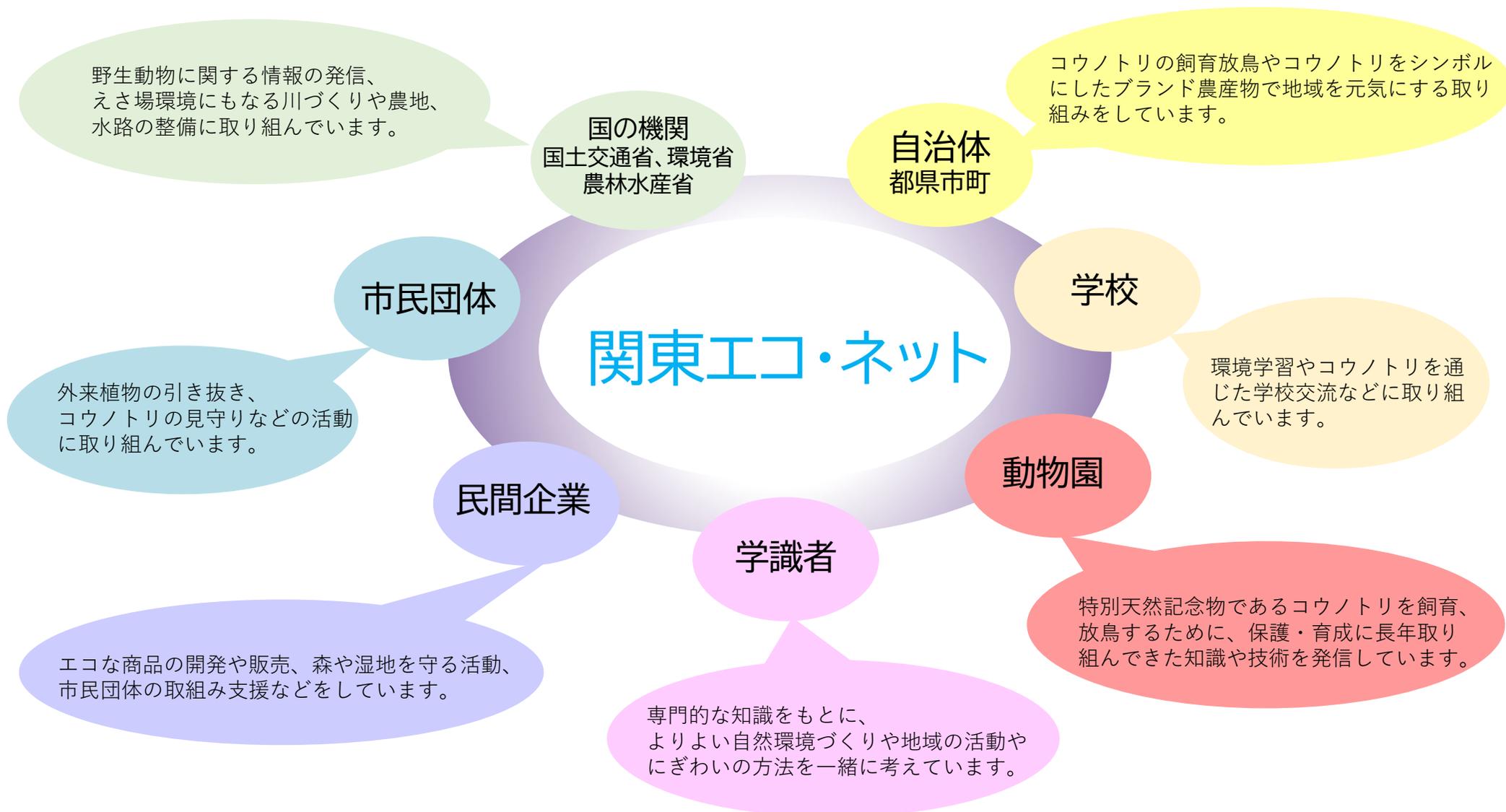


ジャパンハード・フェスティバル

関東エコ・ネットの取り組みを  
広く知ってもらう活動



## エリアの環境特徴を活かした多様な主体と連携した取組を推進





流域治水がみんなの生活の当たり前なるよう生態系ネットワークの取り組みの促進を目指す

コウノトリが身近になるよう  
保護・野生復帰を目指す

たね地づくり



定着地づくり



環境が豊かになるよう  
生息環境の保全・創出を目指す

人・地域づくり

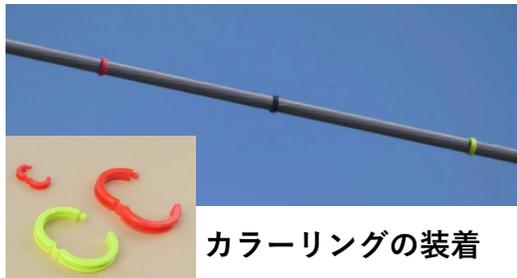


暮らしがにぎわうよう  
地域振興・地域活性化を目指す



# コウノトリ飼育・放鳥条件整備専門部会（たね地づくり部会）

## ■電力・通信会社による営巣・事故防止対策の勉強会



カラーリングの装着



電線防護管設置



営巣阻害対策



巣材の撤去



仮設巣台の設置

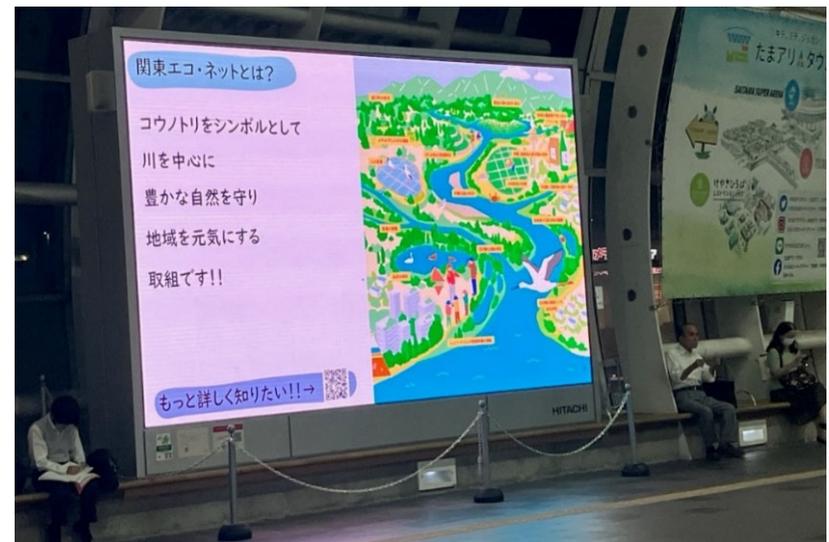
## ■施設等連携によるパネル展「おしえて！コウノトリ」の開催



←パネル展開催の様子（例）  
（左上）鴻巣市コウノトリ野生  
復帰センター・天空の里  
（左下）多摩動物公園



関東エコ・ネットカード  
（各施設ごとに異なるデザインで作成・配布）

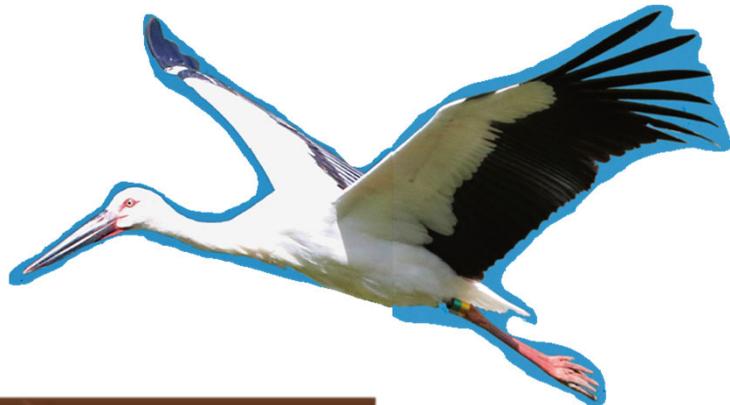


J R さいたま新都心駅前大型液晶での  
デジタルサイネージ放映



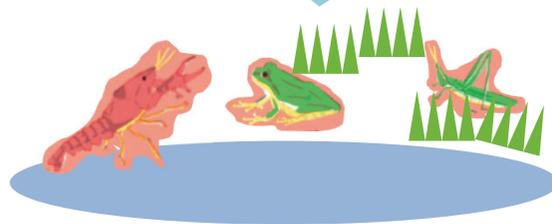
## コウノトリ生息環境整備・推進専門部会（定着地づくり部会）

コウノトリは水田や湿地・河川等を好む



巢の直径は約 2 m

巢の近くに餌が豊富な環境



## コウノトリの生息環境創出・改善の検討・整理

河道掘削に合わせた湿地の創出

+

効果を把握するため生物モニタリングの実施



利根川上流管内 稲戸井調節池（整備中） 2022年11月17日撮影

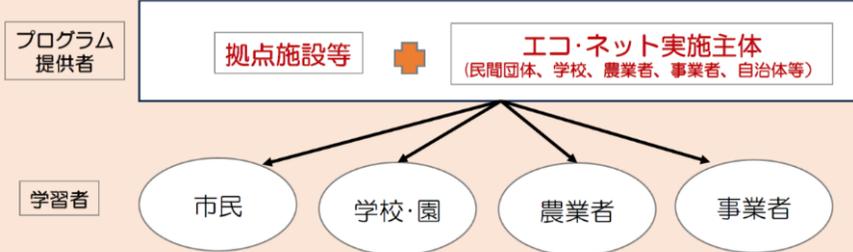
### 渡良瀬遊水地 第2調節池

本来の湿地環境を再生することを目標  
→試験掘削等を実施しモニタリング



# コウノトリ地域振興・経済活性化専門部会（人・地域づくり部会）

## <地域学習プログラムの実施体制>



## <地域学習プログラムの概要>

No.	学習要素 (案)	主な提供方法
1	私たちの暮らしと川とのつながり	
2	エコ・ネットと指標種・シンボル種	
3	エコ・ネットと防災減災	
4	エコ・ネットに関連した地域の取組み	
5	エコ・ネット推進に向けてわたしたちができること	

拠点施設等におけるエコネットを題材とした地域学習プログラム (案)



小山市と野田市の小学校による交流学习 (2023.11.14.)

## 学習題材：コウノトリ・トキと暮らす地域づくり

### 幸せを運ぶ鳥 コウノトリ

人々の関心を高まりを活かす





# 関東エコロジカル・ネットワーク10周年シンポジウム

- テーマ 関東の空にコウノトリとトキが舞う  
～環境と治水の好循環・10年の歩みとこれから～
- 日時 令和5年11月23日（木・祝）10：00-16：50
- 場所 千葉県野田市役所8階・大会議室、こうのとりの里
- 主催：関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会  
後援：コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム  
協力：野田市、(株)野田自然共生ファーム
- 参加者数 シンポジウム：187名  
(会場132名、オンライン55名) / サブイベント：25名



## シンポジウム

### 1 オープニング

関東エコ・ネット取組紹介動画の放映



### 2 開催地挨拶 野田市長 鈴木有

### 3 おしえて！涌井先生 関東エコ・ネットって？

### ミニ講演『関東エコ・ネット10年の成果とこれから』

関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会会長  
東京都市大学 特別教授 涌井史郎



### 『聞いてみよう、関東エコ・ネットのこと』

### 4 パネルディスカッション

河川を基軸とした生態系ネットワークによる  
魅力ある地域づくり



(パネラー：写真左から) 関東地方整備局河川部・矢崎剛吉部長、大正大学社会共生学部・本田裕子教授、金沢大学先端観光科学研究所・菊地直樹教授、東邦大学・長谷川雅美名誉教授、野田市・鈴木有市長、小山市・浅野正富市長

### 5 閉会挨拶

コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム  
代表理事 浅野正富



### 第71回利根川水系連合・総合水防演習

日時：2023年5月27日（土）

場所：埼玉県深谷市



水防演習（リハーサル）の様子



出展ブースの様子



来場者への説明の様子



小山市からお借りしたコウノトリのデコイと説明パネル



### ジャパンバードフェスティバル2023

日時：2023年11月4日（土）・5日（日）

場所：千葉県我孫子市

#### 広報ツール



#### 動画上映



「関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会」「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」合同出展ブースの様子



「おしえてコウノトリBOOK」  
(2019年度製作)  
(約300配布)



野田市コウノトリと共生する地域づくり推進協議会



## トキにも選ばれる田園環境都市を目指して (小山市)

水田ビオトープ

田園環境都市 おやま

生き物がたくさん生息できる水田を目指し、  
水田ビオトープの取り組みを開始



わたらせコウノトリファンクラブ&関連商品

田園環境都市 おやま

コウノトリのことを知り、  
コウノトリを好きになるためのコンテンツを用意



## コウノトリをシンボルとした観光プロモーション



コウノトリの飛来情報を掲載した観光情報誌 (小山市)

## コウノトリの里づくり事業 (鴻巣市)

鴻巣市・コウノトリの里づくり事業

**背景**

本市に息づくコウノトリ + 豊かな自然環境

**目指す姿**

「人にも生きものにもやさしい  
コウノトリの里 こうのす」

笑顔が輝く担い手づくり | 自然と共生する環境づくり | にぎわいのある元気なまちづくり

## コウノトリをシンボルとしたまちづくり (野田市)

**第2期生物多様性のだ戦略**

平成27年3月 「生物多様性のだ戦略」策定

令和元年～ 第2期戦略検討スタート 「生物多様性のだ戦略市民会議」の設置 (会長：東邦大学 長谷川先生) 自然環境調査、社会環境調査の実施 案案の作成⇒パブリックコメント実施

令和5年3月 「第2期生物多様性のだ戦略」の策定

野田市の目指す将来像

私たちの暮らしを支えるみどりと生きものがつながるまち  
～コウノトリもずめる自然なのだ～

WATARASE WHITE STORK MARCH

わたらせコウノトリファンクラブ

5/14 SUN 10:00-15:00

限定100セット!!

2会場 連携会場!



- コウノトリ・トキが安定的に生息する地域は餌となる動物も豊富である。
- 生きものが暮らせる、豊かな自然を守る・育てることは安全・安心な食べものの生産や、地域の特色を活かした、人にとっても豊かな地域づくりに繋がる。
- 安全・安心 商品であることを活かし開発・生産・販売の促進し地域還元となる取り組みを進める。

関東エコ・ネット 各エリアブランド米

野田市 黒酢米



小山市 ラムサールふゆみずたんぼ米



鴻巣市 ここのとり伝説米



我孫子市 谷津ミュージアム無農薬米



いすみ市 いすみっこ



坂東市 将門米ね!





### 5年連続の巣立ち（渡良瀬遊水地）

2020年6月

■ 渡良瀬遊水地内でコウノトリのヒナが2羽誕生し、7月に巣立った



**※東日本では1800年代後半以来初**

2021年



2022年



2023年

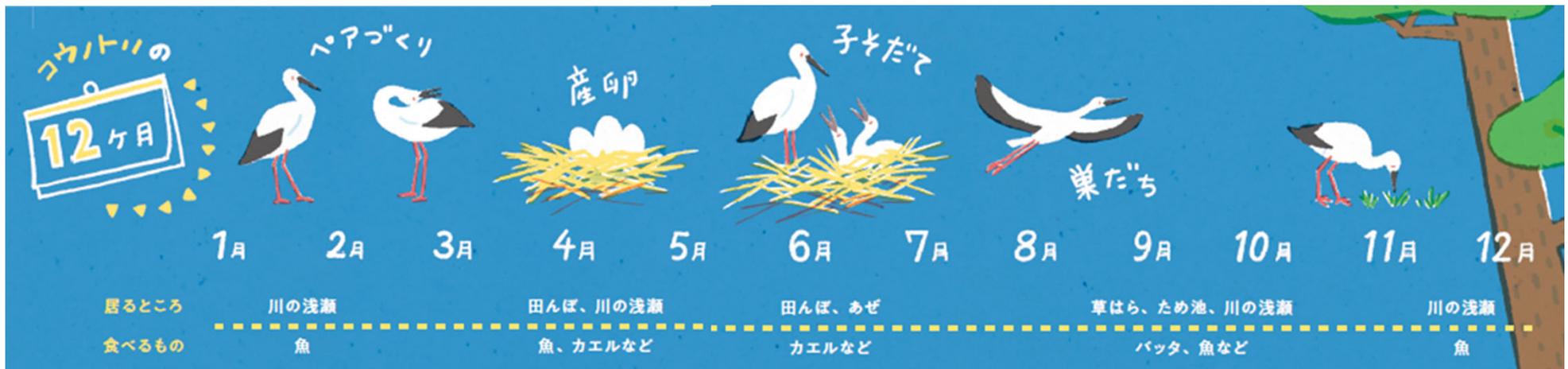


2024年



コウノトリのヒナの様子  
(提供：わたらせ未来基金)

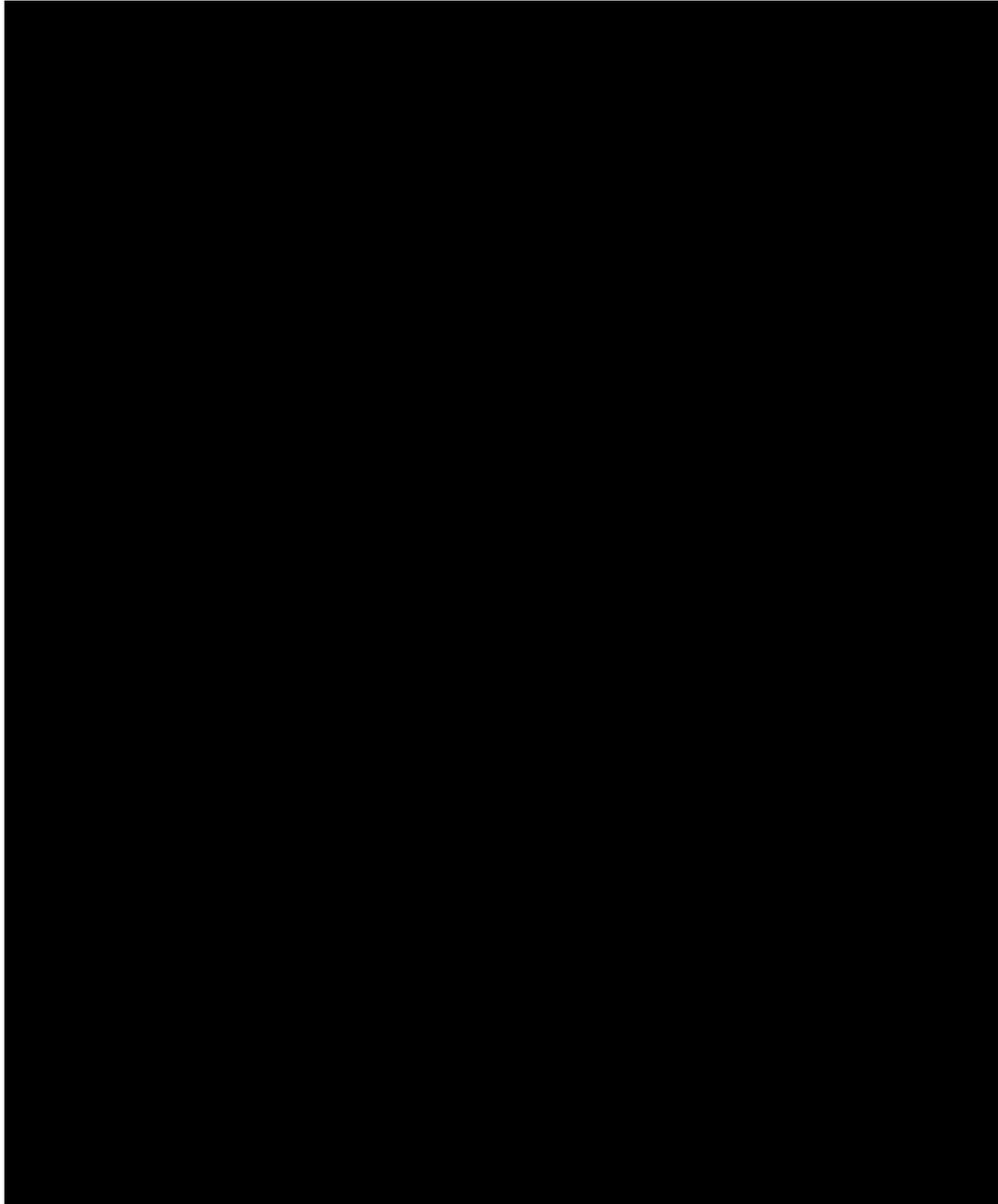
コウノトリの舞う魅力的な地域づくりの実現を目指して  
地域と多様な主体が協働・連携している効果が確認できている





(※)

## 令和6年度は、関東地方で19羽のヒナが巣立ちました！



国土交通省 関東地方整備局  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

2024年5月30日(木) 河川部河川環境課

### 千葉県野田市でコウノトリのヒナ誕生！

「関東エコジカル・ネットワーク推進協議会」の先行モデル自治体であり、コウノトリ飼育・繁殖・放鳥など関東におけるコウノトリの野生復帰を先導してきた千葉県野田市(利根運河、江戸川、利根川地域)において、今春、放鳥10年目にしてはじめてコウノトリのペアが江川地区で営巣・産卵し、4月末にヒナのふ化が確認されました。

関東エコジカル・ネットワークでは、コウノトリ(特別天然記念物)をシンボル・指標種として、治水事業等と一体となった環境整備や流域づくりに取組んでいます。関東地域では、渡良瀬遊水地をはじめ利根川流域でコウノトリの生息や繁殖の回復が期待され、野田市での繁殖確認もこうした傾向を示しています。



親鳥とヒナ(5月)  
(写真提供:千葉県)



渡良瀬遊水地  
5年連続ヒナ誕生  
(写真提供:千葉県)

国土交通省 関東地方整備局  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

2024年8月26日 河川部河川環境課

### 関東生まれのコウノトリのヒナが今年も各地で巣立ちました！

関東地方では、これまで栃木県小山市、茨城県神栖市、行方市などでコウノトリの野外繁殖が確認されていましたが、今年も千葉県野田市でも新たに野外繁殖が確認され、7月初旬までに、4市域・5つの巣のヒナが巣立ちました。

①栃木県小山市  
(宇都宮県・micro法人わたらせ  
水気基金 野木善昭氏)  
(写真提供:野木善昭氏)

②千葉県野田市  
(写真提供:野田市)

③茨城県神栖市(1)  
(写真提供:神栖市)

④茨城県神栖市(2)  
(写真提供:神栖市)

⑤茨城県行方市  
(写真提供:行方市)

※兵庫県立コウノトリの郷公園 HPより集計

[https://satokouen.jp/downloads/0831\\_tp\\_hansyoku.pdf](https://satokouen.jp/downloads/0831_tp_hansyoku.pdf)



■ 関東エコネットの取組みについて、普及・広報を行うほか、関係組織等との連携について関係機関連絡会議の開催等を実施



「第72 回利根川水系連合・総合水防演習」 (R6.5.18. 開催)

「ジャパンボードフェスティバル2024」 (R6.11.2・3 開催)

## 新たな取組み

■ 環境教育について、水辺の生きものや、水辺での安全な活動に関する講習会の実施

エコネットを推進する人材育成（環境教育、地域づくり等）の支援

1. 水辺の安全利用及び水生生物調査に係る講習会
2. ナガエツルノゲイトウ（特定外来種）の駆除に係る講習会





## たね地づくり部会



- 関東地域における救護・事故防止対策に係る関係機関との役割分担・連携体制の調整
- 電力・通信会社との連携体制（案）・関連情報の共有の推進
- コウノトリ・トキや流域治水等を含めた関東エコ・ネットの取組みの普及・周知を促進

## 定着地づくり部会



- 治水事業と一体的な湿地創出に関する検討・現地ワーキングの実施

## 人・地域づくり部会



- コウノトリやトキ等とくらす地域学習プログラムの検討・実施
- 環境価値を重視したブランド農産物・商品の開発・生産・販売促進と地域還元方策の検討・実施





- コウノトリも暮らせる自然環境づくり、保護と野生復帰に向けた関係機関との連携、生き物に優しい農業の推進や環境教育などの取組を進める。
- グリーンインフラの整備とあわせて様々な団体や地域の方々による流域治水の取組みが当たり前となり、多様な生態系ネットワーク形成されることを目指す。





(推進協議会)

東京都市大学

涌井特別教授

日本獣医生命科学大学

羽山教授

埼玉大学

浅枝名誉教授

東邦大学

長谷川名誉教授

ご清聴ありがとうございました

